

とうふねこ座：市川雅子 画

まちがいさがし クイズ

問題

上下の絵を見くらべて、
まちがいを8カ所見つけてください。

応募方法

ハガキまたはファクスに、答えと住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり2月号に掲載しますので、ご了承ください。

送り先

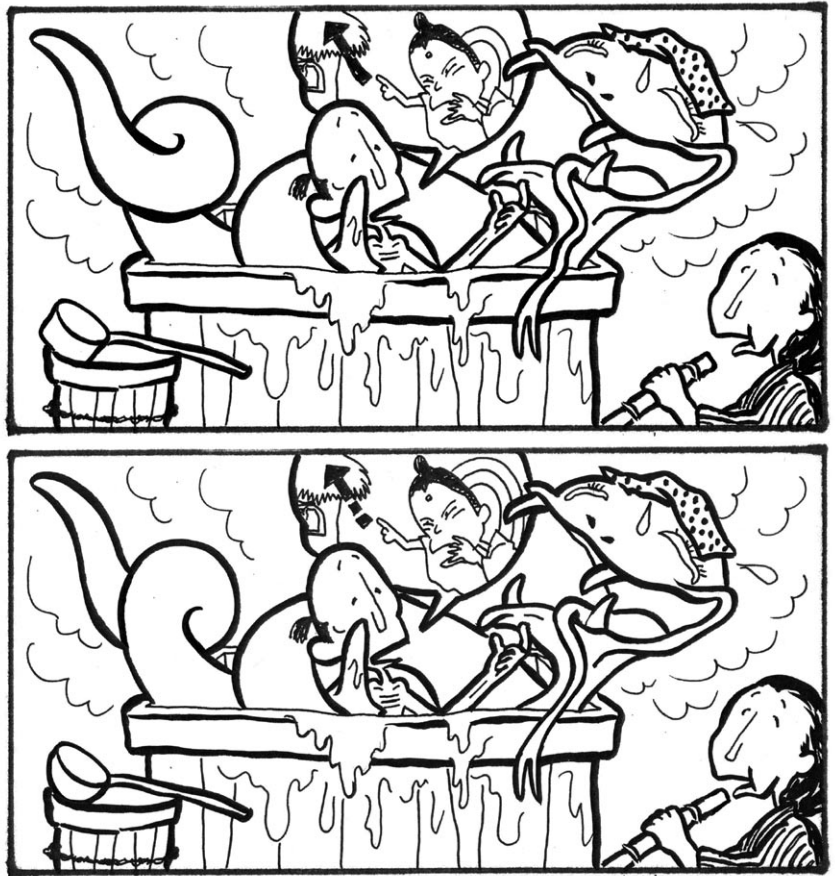
〒443-8601 旭町17番1号
企画広報課「クイズ」係
FAX66♦1190

応募締切

12月16日(水)当日消印有効

プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で10人の方にクオカードもしくはユトリーナバーデゾーン無料利用券をプレゼントします。なお、賞品は2月初旬ごろ郵送します。



「くちな塚」(相楽町)

むかし、宗弘というたいへん働き者で気の優しい貧しい百姓が住んでいた。宗弘は父を幼い時に亡くしたため、母と共に朝から晩まで一生懸命働いた。仕事帰りには観音様を拝み、お堂の掃除やお供えをして大事にしていた。やがて、宗弘も立派な大人になり家を建てかえる事にした。ところが家が建つにつれて顔色は青ざめ、どんどん痩せていった。家が完成した夜、とうとう倒れて寝込んでしまった。母は一生懸命看病したが宗弘の病気はよくなりなかつた。ある日、母は稲刈りを終え帰って来ると、宗弘が涙を流して観音様を拜んでいる姿を見て、自分も観音様のところへ行行って一生懸命拜んだ。

その夜、宗弘の枕元に相楽の観音様が優しくほほえんであらわれた。「一つだけいけないことがあります。それは新しい家の屋根ふきの時に、お宮のお使いの黄金の蛇をわらと一緒に束ねてしまったのです。早くといてあげなさい。そして山のとれ水のお風呂と一緒に入ってあげなさい」とおっしゃると消えてしまった。宗弘は母に急いで屋根に登ってもらい蛇を助け、山のとれ水のお風呂と一緒に入った。すると体がみるみる元気になった。蛇は気持ちよさそうにお風呂に入っていたが、静かに息絶えてしまった。宗弘は申し訳なく思い黄金の蛇を庭に丁寧に葬った。

宗弘はますます観音様を敬い、精を出して働いた。そのため暮らしては豊かになり、お金持ちになった。村人は黄金の蛇の話聞いて蛇を葬った所をくちな(蛇)塚と呼ぶようになり、いっそう観音様を敬うようになった。

◆10月号の答え

10月号クイズまちがいさがし
(羽栗池)の答え

応募数 44通
正解者 34人

当選者(敬称略・50音順)

三谷北通 伊藤 綾乃
大塚町 岩瀬 真利子
西浦町 尾崎 幸三江
三谷北通 近藤 浩行
鹿島町 千賀 進
本町 高橋 尚子
新井町 中西 真名
金平町 根木 ユカリ
形原町 山口 ちづ子
宝町 山本 真由

おめでとございます。賞品は12月初旬に発送します。

